

ふるさとに愛され、
ふるさとを愛する子に



コミュニティ・スクール

かつらぎ町立澁田小学校



○学校の概要

- ・ 和歌山県の北東部
- ・ 人口：約1万7000人
- ・ 日本有数の柿の産地
- ・ 農村地帯
- ・ 世界遺産の里・万葉の里

丹生都比売神社



三谷坂（高野山参詣道）



妹背山（万葉集に15首）



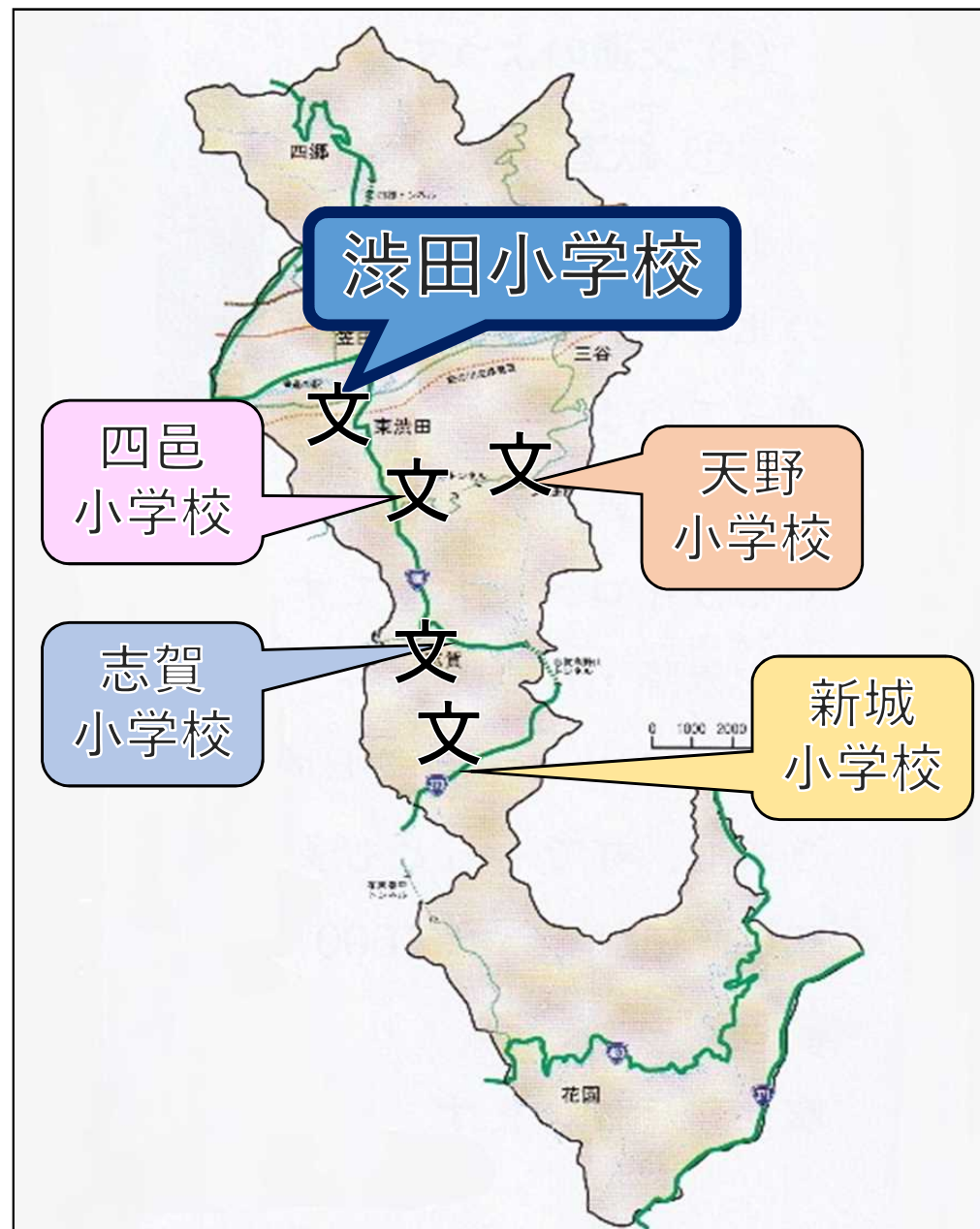
○学校の概要

- ・ 町内に小学校 5 校
中学校 2 校
- ・ 校区は
高野山と紀の川の間



○学校の概要

- ・平成25年に5校が統合



○学校の概要

- ・ 児童数 85名
- ・ 各学年 1学級
特別支援学級 2学級
計 8学級



○学校の歴史

◎40数年前

学級崩壊→週刊誌報道

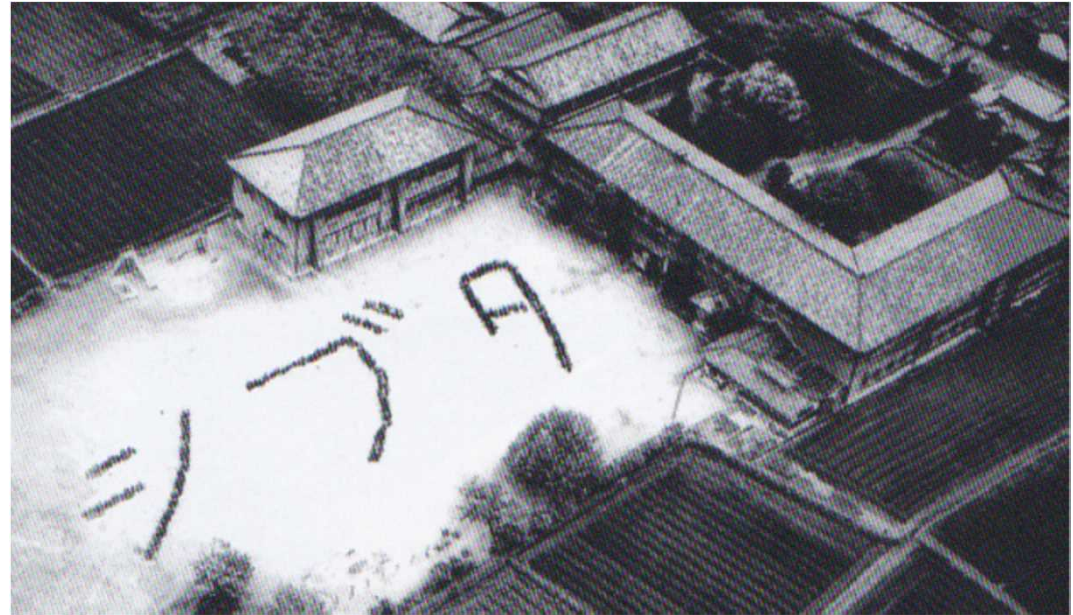


【教訓】

「地域の子は、学校・家庭・地域が協力して
育てなければ」



- ☆少年野球チームの誕生（健全育成を願って）
- ☆「ほしの会」の誕生（子どもの生活の安全を願って）



○学校の歴史

◎学校支援ボランティアの誕生

〈17年前〉

- ・ ふるさと先生クラブボランティア
- ・ 学校開放日の「昔遊び」ボランティア
- ・ 陶芸教室ボランティア

〈14年前〉

- ・ 県下で初めての見守り隊結成

〈13年前〉

- ・ 通学合宿ボランティア

〈6年前〉

- ・ 花植えボランティア
- ・ 野菜栽培指導ボランティア



○学校の歴史

◎5年前

いじめ事案が発生

- ・ 3年にわたり解決できず



親も子も苦しめることに

- ・ 第三者委員会の発足
- ・ 新聞掲載される



○学校運営協議会の立ち上げ

◎次年度から

- ・ いじめ問題を教訓にして学校改革を

◎苦難の門出

- ・ 8月校長入院
- ・ 小学校勤務が初めての新任教頭が校長職兼務



○学校運営協議会の立ち上げ

◎かつらぎ町初のコミュニティ・スクール

- ・ 県教育委員会の計画
- ・ 教育長の思い

*大きな困難を経験した学校だからこそ早く立ち上げを

*たくさんの学校支援ボランティアがいてくれる



○学校運営協議会の立ち上げ

◎立ち上げる上で気をつけたこと

- ①学校評議員の方々を土台に考える
- ②学校支援ボランティアの方にも入っていただく
- ③各種団体の長を多く入れない



○澁田小学校がコミュニティ・スクールに ◎第1回学校運営協議会（6月23日）



○澁田小学校がコミュニティ・スクールに

◎地域から学校へ（学校支援）

◆学校支援ボランティアの充実
学校からの要望



今までのボランティアを含め約90人に

平成29年度学校支援ボランティア応募票

下記の必要事項にご記入いただき、FAX で送信いただくか、学校のポストに入れていただくか、その他、応募しやすい方法でご連絡くださいますようお願いいたします。
応募いただきましたら、学校支援ボランティア名簿に登録させていただきます。その後、ご支援いただく日時等について学校から連絡させていただきます。その時点で、ご都合が合えば、ご協力ください。ご登録いただきましても、必ず参加しなければならないというものではありません。
また、学習の進度や活動内容の変更等により、お願する機会が年度内に設定できない場合もございますので、ご了承ください。（特に締切はありませんが、できましたら9月中にご連絡いただけたら幸いです。）

氏名(年齢)	()
住所	
電話番号	
ご協力いただける内容	
その他、ご協力いただける曜日・時間帯等、ご要望がございましたら、ご記入ください。	

澁田小学校 〒649-7151 東澁田151-1
電話 22-2004 FAX 22-2969

○澁田小学校がコミュニティ・スクールに

◎地域から学校へ（学校支援）

◆直接指導に入ってくれるもの

- ・ふるさと先生クラブ
- ・陶芸指導
- ・合唱指導
- ・読み聞かせ
- ・野菜栽培指導



○澁田小学校がコミュニティ・スクールに ◎地域から学校へ（学校支援）

◆教師の支援に入るもの

- ・ ミシン実習支援
- ・ 調理実習支援
- ・ 工作実習支援



○澁田小学校がコミュニティ・スクールに ◎地域から学校へ（学校支援）

◆環境整備

- ・花いっぱい運動
- ・運動場の除草



○澁田小学校がコミュニティ・スクールに

◎地域から学校へ（学校支援）

◆登下校の見守り活動

◆通学合宿の調理指導ともらい湯提供

◆学校開放日の昔遊びの指導



○澁田小学校がコミュニティ・スクールに

◎学校から地域へ（地域貢献）

◇交通安全啓発活動（警察の協力も）

◇お花届け便

◇保護者の方々と清掃活動（県クリーンアップ運動）

◇敬老会の演芸大会で合唱を披露
（台風で中止）



○学校と地域・家庭をつなげるために

◎「コムスク便り」の配布

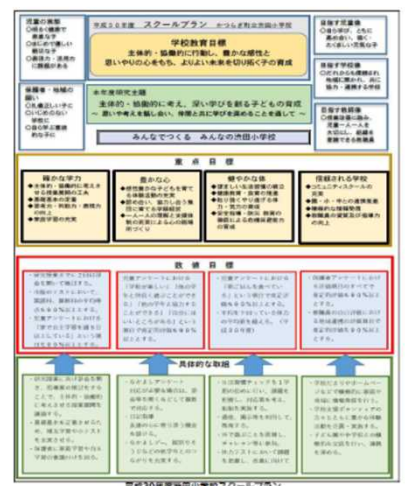
・校区内の全戸1000戸に

【別冊資料2】
コムスクだより 第1号 発行：かつらぎ町立浜田小学校
 学校運営協議会事務局
 平成30年4月 TEL:22-2004

■平成30年度浜田小学校学校運営協議会委員を紹介させていただきます。
 本年度の委員は、昨年度に続いて同メンバーにお届けいたしました。(PTA会長・副会長及び中学校長は本年度のメンバーに交代します)紹介させていただきます。
 功 昭光 徳 剛村 剛代 徳 雅田 利明 徳
 野田 宗和 徳 南 義夫 徳 片山 和博 徳
 松下 京子 徳 安文 儀之 徳 鈴木 健太 徳
 北 真人 徳
 一年返りよろしくお願いいたします。
 (本校担当職員) 岩井 秀雄 中谷有美子 亀田 知明



■第1回学校運営協議会が開催されました
 4月5日(木)第7期からの浜田小学校会報をこきまて、平成30年度第1回学校運営協議会が開催されました。話し合った内容を紹介します。
 ○ 幹事会、役員会、委員会の委員紹介の後、本年度委員・副会長の選任がありました。本年度の委員を昨年度に続きまして 功 昭光 徳、副会長を 剛村 剛代 徳にお届けすることになりました。よろしくお願いいたします。
 ○ 昨年度の学校運営協議会委員評価について確認しました。おもな委員をお知らせします。
 ・学校で問題が起きた時の対応が適切だと認めます。大切な問題は、聞かせるだけでなく、みんなの意見として考えるところがいります。
 ・小さな問題でも対応し、いらいのない学校づくり、笑顔づくりを取り組んでいます。
 ・学校だよりやコムスクだより、ホームページ、いろいろな学校の情報を地域へ発信していることで、学校の地域連携の取組がみえ、いろいろな学校との関係が築かれています。
 ・地域の子どもとつながり、交流が深まったように思います。
 ・外から学校のボランティア活動が盛んに行われるようになってくると思われます。新しいメンバーに「やってもらうことが増えたらいい」と思っています。
 ・授業時や放課後など、先生方が授業の機会がほしいと思います。
 ・ボランティア活動にもっと参加してほしいです。
 ・「これが浜田小学校の子ども達です。」と、胸を張って見えるような子ども達に成長してほしいです。
 ・子供たちは、自分たちが持っている活動が地域や社会のために使われているという自覚をもつようになってきています。このことが自覚の向上につながり、更に取り組むよう励まされていきます。
 ・朝山道の清掃・かわの清掃の自主・校庭の自主を担うことができるよう育てたいです。
 ○ 本年度の学校運営協議会(コムスク)の取組をさせていただきます。
 本年度も学校運営協議会(主体的・協働的に)考え、様々な意見を取り入れ、よりよい未来を切り拓く「育成」とし、思いや考えを話し、仲間と共に学びを深めることを目指して「みんなで作る みんなの浜田小学校」を目指して取り組むこととさせていただきます。ご協力をお願いいたします。



- 30年度学校運営計画(コムスク)の取組**
- 最後にご挨拶・ご感想いただきました。
 - ホームページを充実して、随時情報発信を行ってくださっているのに、閲覧数が少ないという事。
 - 公開と一緒に何か行ってきたらと思っています。よろしくお願ひします。
 - 高田地域の歴史について、みんなで学習する機会があればいいと思つた。
 - 実行部の人数が増えている。
 - ボランティアでイベント運営の補助をさせてもらって、とても楽しかった。これから、実行部ボランティア活動に関わることをみんなに知らせていきたい。
 - あいさつ運動がどんな活動になってきている。
 - 今年も、児童が「誰かのために役に立つ」という意識をこれからの活動を通して、「誰かのために何かをやる」と考え、自分達が活動する機会をよびたい。

■学校支援ボランティアの募集について(学校運営協議会からのお願い)

一昨年、朝野山道が「3年以内に小・中・高のすべての学校で学校運営協議会を立ち上げる」と発表しましたが、かつらぎ町では浜田小学校が初年度(昨年)に学校運営協議会を立ち上げ、コムスク(コミュニティスクール)となりました。学校運営協議会は、地域の方々7名・PTA役員2名・校長先生1名で浜田小学校職員3人との13名で結成されました。初年度に立ち上げた学校の中心で取り組むことが増えていって、県下では、注目されたコムスク(コミュニティスクール)でした。県の研修会でも、浜田小学校の運営協議会が本年度の発表を依頼されたほどでした。外部の団体や校区内の方々の子どもに対する評価も高く、「最近、こんな素晴らしい子ども達を見たことがない」と驚いてもらうというふうなこともありました。

浜田小学校 学校支援ボランティア(学年別実績)

学年	人数
1年生	2
2年生	7
3年生	4
4年生	1
5年生	1
6年生	1
合計	17

このような状況を作り出すことができたのは、学校の先生方の一致した取り組みがあったからですが、スクールボランティアの方々やご家族の大きなお力添えがあったからだと考えられています。その支援ボランティアの方々には感謝しています。このように昨年度の1年でも、多くの方が参加してくれましたが、まだまだ人数の少ないところがあります。ですが、この方のように積極的に活動して頂くのが大変なことです。それでは、学校運営協議会では、もっと気軽に気持ちで、自分の都合のいい日に、都合のいい時間に活動して頂ける方も参加して頂けると思っています。

例えば、自分の都合のいい日に、黄色い背番号の上着を着て地域内を歩いて頂くだけで、犯罪の防止効果があると考えられています。そういう見守りをして頂く方を求めています。浜田小学校区でなにかをできる人はいくらもいます。ですから、都合をかねて、校庭を歩いてみよるか」といった、そんな気軽に気持ちで参加して頂ければと思っています。子どもも下校時に会えばそれ以上に話しかけたいと思います。下校時になくても見守りの際の話を聞いて頂くだけでも効果はあると思っています。現在、そういう参加の仕方を下さっている方もいます。登録して頂いた活動内容ではないということがあってもかまいません。どうか構いなくて参加下さるようお願いいたします。

子ども達の成長には、地域の人が関わることが大切です。「地域の人に買ってもらっている」「地域の人がいればこんなことで助けてくれる」と感じれば、自分たちは大切にされているという自己肯定感をもちながら成長していくことにつながります。そして、自分が地域のために頑張る大人に誇りを持っていくのだと思います。子ども達の成長のために地域の大人が活躍する、子どもも地域のために何かできることはないかと考える。そんな学校と地域の関係ができればいいなと思っています。

ご参加して頂く方、ご協力いただいた皆さまよりよろしくお願いいたします。



浜田小学校 学校支援ボランティア(予定)

学年	人数
1年生	2
2年生	7
3年生	4
4年生	1
5年生	1
6年生	1
合計	17

○学校と地域・家庭をつなげるために

◎「コミュニティ・スクールの報告会」



○学校と地域・家庭をつなげるために

◎ホームページへの掲載

●とうもろこし植え 1・5年生

坊様にお世話いただき、とうもろこしの苗を植えました。ずいぶん前から苗を育てていただき、植え方も指導していただきました。1年生は、小さな手で穴を掘り、両手でそと苗を植える姿がとてもかわいかったです。とてもじょうずにできたねとほめていただきました。5年生は、さすがです。手際よく植える姿は、1年生のお手本になりました。



●草引き 4月19日

昨年度、地域の方々と一緒に植えたパンジーがとてもきれいに咲いています。ところが、その周りに草も育ってきました。今日は、掃除の時間に2つの班が、草引きをしてくれました。おかげでずいぶんきれいになりました。



●3年 まちたんけん 南コース (安井農園・郵便局)

先日、社会科「わたしたちのまちを調べよう」の学習でまちたんけんを行いました。南コースは、安井農園と郵便局に行かせていただきました。安井農園では、桃の摘果体験や自分だけの桃に名前を書いてふくろがけをしました。郵便局では、郵便の仕組みや切手の種類などについてお話いただきました。切手の種類の多さに子供たちは大興奮でした！貴重なお話や体験をさせていただき、ありがとうございました。



●4年生 図工の授業

今日は、地域の方に来ていただいでのござりの使い方やひもを使って木を組み合わせる方法を教えていただきました。



●3年生町探検

東波田駐在所に行ったグループの様子です。ふつうは見ることができない警官の持ち物を見せていただいたり、パトカーに乗せていただきました。



●学校運営協議会開催 4月5日

平成30年度第1回学校運営協議会を開催しました。今回は、平成30年度の学校経営方針の説明と承認が主たる議題です。昨年度学校運営協議会の方々にしていただいた学校評価をもとに成果と課題を確認した上で、校長の示す学校経営計画がそれを反映したものになっているかを審議いただき、承認していただきました。また、学校からコミスクカレンダーを提示し、今年度は様々な取組を1年間を見通して計画的に行ってきたいという旨を説明しました。



○学校と地域・家庭をつなげるために

◎学校運営協議会でのいじめの報告



○学校の変容・子どもの変容

◎学校の変容

- より安全な登下校（見守り隊の工夫・安全マップの作成）
- 管理職が引っ張るCSから全職員が役割を担うCSへ
- 保護者の方からは「先生方と気軽に話し合える機会が増え、より身近な学校になった。」
- 学校の情報をどんどん発信する学校へ
- ★安全で効率的な授業（調理・ミシン・工作サポート）
- ★今までできなかった授業ができるようになった。
（工作の材料集めや工具の使い方指導をボランティアの方々に）
- ★ふるさと先生クラブ

○学校の変容・子どもの変容

◎子どもの変容

- 今まで以上に挨拶がしっかりできるようになった。
- 児童会活動を地域貢献にまで広げたことによって、活性化できた。
- 感謝の気持ちを口に出して言える子ども達
- 「最近、こんなすごい子らを見たことがない」との声
(食育推進事業関係のお年寄り8人が学校に来られたときの声)

○昨年度の課題をふまえて

- 農村地帯では、ボランティアが集まりにくい。
- コーディネーターを作れていない。
- 「どんな子ども達に育てたいか。」から、出発を…。

**○澁田小学校のコミュニティ・スクール
を通して期待していること**

ふるさとに愛され、
ふるさとを愛する子に

